

運営点検会議における委員からのご意見に対する対応状況

資料 1

1. 平成 30 年度 職員意識調査分析結果について

ご意見等	対応状況
<p>全体を通してみると、学校安全部のスコアが他の部署と違いがある。何か特別な対応が必要ではないか。特に前年度との比較で『内部統制の理解度』が5%下がっている。以前、学校安全部は契約職員の割合が多いと聞いているが、契約職員が入れ替わったことが原因であれば、職員が多い部署よりも多くの対応が必要になってくるのではないか。また、外部からの要望で『災害事例等の情報を聞きたい』との意見があるが、外部に対し、今後どのように取り組む予定か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支所の管理役が集まる会議において、経営戦略室、総務部に依頼して、内部統制、コンプライアンス等の研修を行い、事務所に戻り職員へ周知した。 ・災害事例の提供については、情報提供実施基準（平成 24 年 3 月）に基づいて、現在以下の情報提供を行っている。引き続き関係団体等の協力を得て、情報提供を行っていきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ事故防止セミナー開催による提供（平成 26 年度から継続実施） <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止（熱中症、突然死、水泳、歯、頭部外傷など） ・令和元年度は、全国 13 会場で開催予定（兵庫、山口、福島、青森、石川、神奈川、佐賀、鳥取、滋賀、三重、愛媛、大分、群馬） ○学校安全Web（ホームページ）による提供 <ul style="list-style-type: none"> ・学校事故事例検索データベースの公開 （H17 年度～H29 年度に給付した、総数 7,028 件の死亡・障害事例） ○広報誌等による提供 <ul style="list-style-type: none"> ・「熱中症予防」の資料送付（DVD、パンフレット）など ○関係団体との連携による提供 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会等主催の研修会での提供など
<p>自由記述で「残業が多く、自分の時間が持てないスタッフが偏在している」との意見があるが、事実であればマネジメントの問題であり対策が必要である。偏在というのは、誰か一人しか対応できない、代わりがない仕事のやり方等、システム的な問題がある。放置していると、いつまでも変わらない。残業が偏っているというのは、働き方改革の時代によくないことである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に主に業務目標・評価などに関し、上司（管理職）と年 2 回、面談をすることとしている。これまでも面談とは関係なく随時、業務に関する個別の相談事なども聞いているところだが、今後も面談を活用し、個人の仕事量に関する現状把握と改善に努める。 ・全部署に対し「業務マニュアル」の更新や見直しを毎年 8 月に行っている。各マニュアルを活用し、代わりがない仕事のやり方などの解消に努める。

ご意見等	対応状況
<p>トータル的に見て、部署の違いがあると思うが、自由記述の部分では、上司へ相談しやすいという意見の一方で、スピード感がない、管理職が管理していない等との記載がある。せっかく自由記述してくれたので、それに対しどう対応していくかお聞きしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各部長職へのフィードバックの際、自由記述の意見に対しても気を配り、現状把握及び改善に向けて日々意識することを心掛けるよう認識合わせをしたところである。また、各部で行っている内部統制を推進する取組みについてヒアリングし、好事例（参考1）として部長等会議やイントラネットの社内報を通して、役職員へ共有した。
<p>コンプライアンスの関係から、透明性は重要であるが、「上司への相談のしやすさ」については、落ちている部署もあり心配である。人が変わっていることもあるかもしれないが、去年よりは今年、今年よりは来年と次につなげていかなければいけない。より良くするために幹部たちが具体的に考えていかなければならないことである。具体的に考えたことを、アクションに移していかなければ組織は変わっていかない。項目が多いので、ポイントを絞って、具体的なアクションプランを考え行動していくことが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「上司への相談のしやすさ」に関し、理事長をはじめ、役員、部長職でより良くするため、ディスカッションの場を設けた。ディスカッションの最後に理事長から各部長職に対し、他部署の対応や考え方を知った上で、各自のやり方で、意識を高く持ち行動に移すことを呼びかけ、組織全体として上司へ相談しやすい職場環境づくりに取り組んでいくことを改めて確認した。
<p>自由記載のピックアップについて、役員に知ってほしい、対応してほしいという要望の表れではないかと感じる。「勤怠管理、旅費管理の書類が多く煩雑」「フィードバックがない」等一つ一つは細かいことであり、役員が直接手を下すことではないが、意見に対し、目配りをして目に見える成果を見せることが大切である。</p>	